

空き家対策の講演 & 委員からの意見のまとめ

～ポイントは「地域の希望」と「既存の空き家施設」のマッチングと人材育成！～

まちなか再生協議会の「地域の希望」×「既存の空き家施設」

○希望	○アイデア
<ul style="list-style-type: none">・高齢者、子供、若者が「集える場」・働く世代には「夜に集える場」・中心市街地から離れた人も集いやすい場・農村集落にも拠点となる施設・図書館施設・町外の方が少し滞在できるような場	<ul style="list-style-type: none">・みんなが集まれる多目的な貸しブース・昼夜で用途の転用可能な施設（昼カフェ・夜BAR）・徳島県神山町のように用途指名型の空き家バンク制度の導入・緑を活かした空間「ポケットパーク」・ゲストハウス
○現状と課題	○実現に向けた提案
<ul style="list-style-type: none">・地域性として、空き家を利活用するより、新築の住宅を求める傾向にある（気候等の理由）・保育所、旧Kニット跡等空き家転用可能な施設はたくさんあるように見える。・空き家がたくさんあるようだが、店舗兼住宅の建物が多く、利活用しづらい建物もある。・市街地の空き家の現状把握と見える化が必要では。・アイデアを実現するリーダ的人材は？・改修にかかる資金源はどこから捻出するのか？	<ul style="list-style-type: none">・ソトモノ目線での価値発掘とPR・担える人材はやはり「地域の人」もしくは、U I ターンの方（地域性を理解している人がよい）・いきなり大きなことをするのではなく、小さなグループから始めてだんだんと協力者を増やしていく「小規模D I Y精神」・資金源は「出資金」「借金」から始まる。それを自ら返済していけるような仕組みづくりを。半農半X（エックス）という田舎暮らしのひとつの方法。ひとつの成功例からの波及効果でIターン者が増えていく。